

令和2年3月29日

市議会議員 坂澤博光

令和2年3月、各務原市議会定例会で審議された内容について報告します。

1 令和2年度一般会計予算

予算規模は、545億7,000万円で前年度に比べ、56億9,000万円、率にして11.6%増となりました。

令和2年度は、総合計画後期基本計画の開始年度になり、後期基本計画に掲げた「つながりづくり」の方針のもと、人と人、人と地域とのつながりを強めるため「地域力」を高める事業を推進していきます。

新規事業や昨年度から拡充する事業のうち主なものを報告します。

・かかみがはら寺子屋事業（基礎学力定着事業）

児童生徒の基礎的な学力の定着を図る「ららら学習室」の小学4～6年生を対象とした学習室を1教室増やし、中央図書館と鶴沼福祉センターで開催します。

・フレイル予防事業（フレイルとは高齢期に心身の機能が衰える状態のこと）

住民が主体的にフレイル予防に取り組めるよう、住民ボランティアを対象にサポーター養成研修を行います。総合体育館や稲田園において、独自の指標を用いたフレイルチェック体験をし、該当者には保健指導や栄養指導を行い、症状改善に向けたアドバイスをします。

・産後ケア事業

出産後4ヶ月までの母子に対し、母子健康包括支援センターを通じ、心身のケアや育児サポートを行い、産後も安心して子育てができるように支援します。

・防災対策強化事業

災害発生時に備えて必要な物資を蓄えるため、防災備蓄倉庫の建設とコンテナ式防災倉庫を整備していきます。下水道が整備されている小中学校に、マンホールトイレ設置のための整備をします。

・チョイソコかかみがはら事業

日常の外出にかかる移動ニーズに対応するため、民間技術を活用した

「デマンド型交通システム」を、ふれあいタクシー鶴沼南エリアで社会実験をします。



2 各務原市総合計画後期基本計画としあわせ実感かかみがはら総合戦略

後期基本計画は、令和2年度から令和6年度までを後期とし、「笑顔あふれる元気なまち、しあわせ実感かかみがはら」を基本理念に、9の基本目標を定め、目指す姿（例えば、「市民が自由な発想や自分らしさ、好きなことを活かしながらまちづくり活動などを行うことができる環境が整っている」など）を明らかにし、事業の達成指標（例えば、市

民の皆さんに無作為抽出でアンケートをお願いし、「市民のアイデアや意見が市政に反映されていると感じる人の割合」などをパーセントで表したもので評価します。施策の方向性を定め、予算が伴った実施計画を推進していきます。

更に、総合計画の考え方、施策の方向性をベースに、人口減少対策と地方創生の確実な実現の観点から組み直した総合戦略を定め、①産業・雇用、②子育て・教育、③魅力向上の戦略目標を定めています。各施策の効果を客観的に検証するため、「計画したことがどの程度達成したか」だけでなく重要業績評価指数（目標達成に大きな役割を果たす内容を数値で表したもの）を設定しています。

3 条例の制定や参考情報

(1) 各務原市総合体育館整備基金、基本構想・基本計画策定委員会

現総合体育館は竣工から36年が経過し、施設の老朽化が進むとともに、施設運営に課題を抱えていることから、整備基金を創設し、基本構想・基本計画を策定するための委員会を立ち上げます。

(2) 各務原市伊木の森

豊かな自然環境を持つ里山を整備し、市民の交流の促進と里山の活用の推進を図るために整備します。



(3) 各務原市特別支援学校建設基本構想・基本計画策定委員会

各務原市内に小学部・中・高等部（知的以外）の特別支援学校がないため、市外の特別支援学校に通学している児童生徒が多くいます。

小・中・高等部を対象とした市立の特別支援学校を設置するため、基本構想・基本計画を策定するための委員会を立ち上げます。

(4) 那加福祉センター勤労会館駐車場活用事業

市民公園から学びの森一帯の賑わいを創出するため、那加福祉センター勤労会館駐車所跡地に、民間の施設を整備し令和3年度に供用開始予定です。

(5) 東海中央病院に対する支援について

- ・東海中央病院が昭和49年に、那加桜町から蘇原東島町に移転する際に、市民病院として位置づけ、土地の提供や支援金を助成することを議会で議決しました。
- ・現在、本市の救急搬送件数の半数を東海中央病院が担っている中で、地域医療を取り巻く経営環境の変化により、救急医療体制の維持が困難になってきています。
- ・総務省の繰り出し基準を参考に、救急医療体制維持のための負担金と高額医療機器購入のための補助金を助成します。

第29回市政報告会

市政報告は、新型コロナウイルスの感染拡大防止に協力するため、街頭演説のみとし、公民館における報告会は6月議会まで延期します。

連絡先：各務原市那加昭南町 97-1-201 坂澤博光

電話&FAX：058-371-1270 携帯電話：090-7026-9861

Eメール：hir_skzw@d1.dion.ne.jp